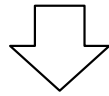
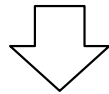


整備事例の紹介（白馬村）

長野オリンピックの開催を契機として



「白馬村の美しい景観を見てもらいたい」



平成8年10月1日より**屋外広告物特別規制地域**となる

・・・地域の美観風致の維持や景観形成を図ることが特に必要な地域を、市町村の申し出により、県屋外広告物条例に定める「屋外広告物特別規制地域」として、知事が指定する。

指定されると・・・

看板の用途が規制される（企業広告・商品広告の類は一切設置できない）。

用途毎に面積、高さ等の基準ができる。

案内用看板を設置できない区域ができる。

広告物の表示、設置、改造に許可が必要。

整備事例の紹介（白馬村）

既存の屋外広告物について

許可基準に適合する看板は、施行日より3年間に許可を受ける。

許可基準に適合しない看板は、施行日より3年間（又は6年間）に撤去するか改造をする。

補助事業について

平成8年9月末までに撤去を実施した場合には撤去費用の2/3の額（上限80万円）を補助する。

平成8年10月以降は補助対象とならない。

撤去後の新設費用の負担及び撤去費以外の補償はしない。

その他指導方針

スキー場の案内又は誘導のためのものについて

集合化に努めること

案内用広告物について

近隣の営業施設で集合化に努めること

整備事例の紹介（白馬村）

整備事例



整備前参考例（長野県）



白馬村集合サイン事例（設置費用補助はなし）

整備事例の紹介（長野県）

「美しいまち・ふるさとの道 再生モデル事業

「美しい長野」再生のために地域の特性を活かした屋外広告物の整備、誘導、規制に係る総合的な施策を推進するために、屋外広告物に係る経費を助成する。

対象地域について

北佐久郡軽井沢町の区域

八ヶ岳西麓地域（茅野市及び諏訪郡（富士見町及び原村に限る）の区域）

安曇野地域

北信州地域

補助対象経費

市町村等又は公共的団体が屋外広告物に係る景観対策のために計画策定する経費

公共サインの設置（用地費を含む）及び撤去に係る経費

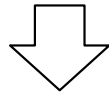
民間サインの集合化及びデザイン誘導並びに撤去に係る経費

補助率 3分の2以内

整備事例の紹介(富士河口湖町)

景観ガイドプラン(サイン計画/平成10年度)

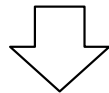
富士山と湖をはじめ、すばらしい自然環境の保全を図る為に各種サイン(広告物、案内板等)のあり方を主眼に景観形成に関する計画を立案している。



民間案内看板に対して集合化を図る

形状の統一

盤面色彩の統一(地色は基本的に黒又は茶)



平成11年より民間案内看板の集合化に取り組んでいる

年に2~3箇所設置、今までに20箇所程度設置している。

民間集合案内看板の費用については、町費にて設置している。

ただし、民間より協力金というかたちにて費用の3割~5割の負担をお願いしている。

整備事例の紹介(富士河口湖町)

整備事例



整備前



整備後

整備事例の紹介(富士河口湖町)

整備事例



整備前



整備後

整備事例の紹介(富士河口湖町)

整備事例



整備前



整備後

整備事例の紹介(富士河口湖町)

整備事例



整備前



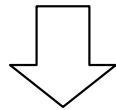
整備後

整備事例の紹介(フランス)

フランスの標識の基準について

現在はEUとして統一の基準に基づいている。

EUの基準は国連標識基準（ジュネーブ条約）に基づいている。



フランスの標識は独自の基準によるものではない。

フランスがわかりやすいと考えられる理由について

屋外広告物の規制が厳しいため、情報が氾濫しておらず標識が確認しやすい。

日本のような街区方式ではなく、道路方式による住居表示のため位置確認がしやすい。

屋外広告物の規制が厳しいため、情報が氾濫しておらず標識が確認しやすい。

フランスによる広告物の規制について（参考：都市保全計画 / 西村幸夫著）

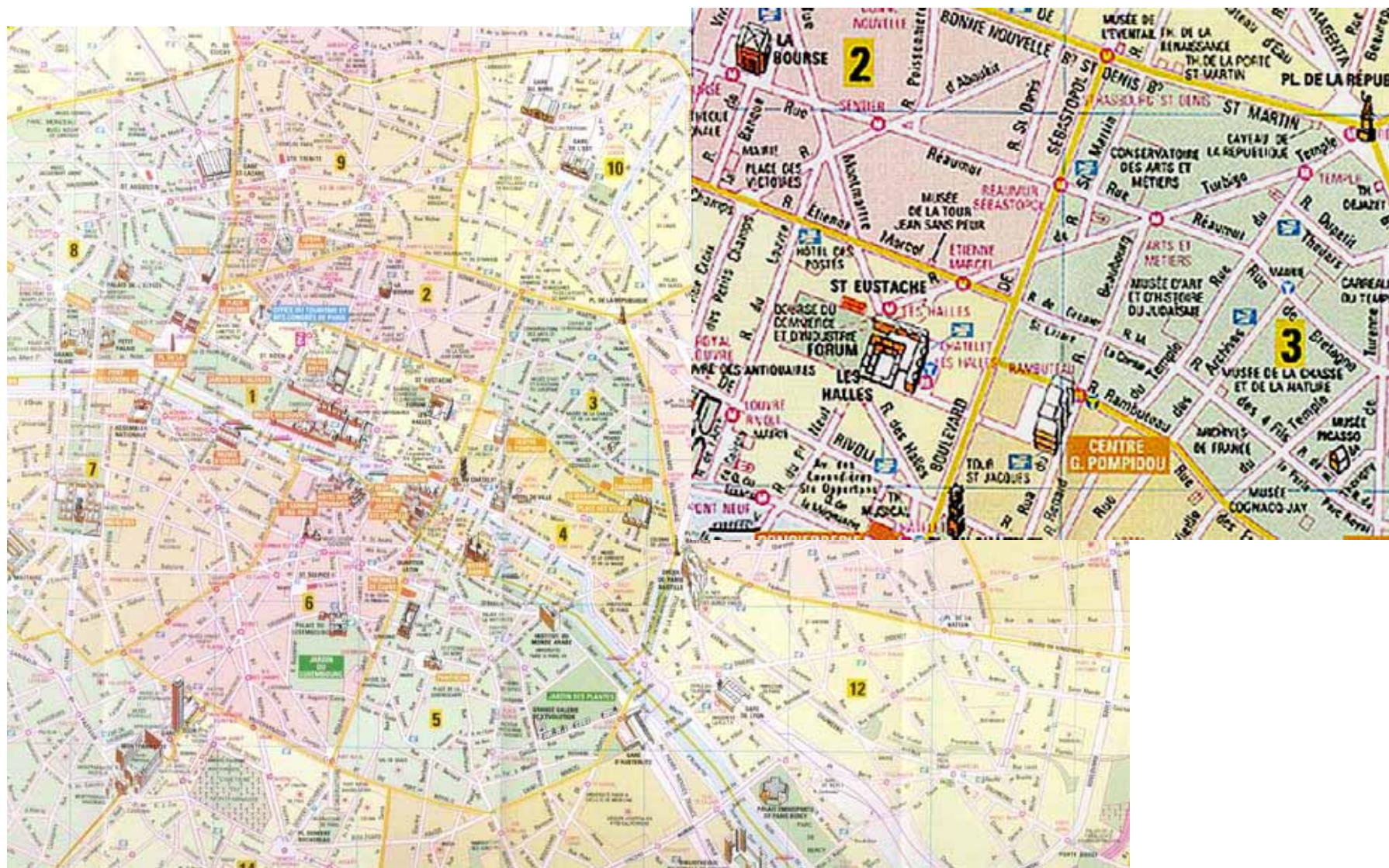
広告物の掲出は原則的に市街地に限られ、それ以外の農村部では広告物許可地区で許可される以外では掲出が禁止される。市街地内部においても指定及び登録歴史的建造物や指定景勝地、国立公園などでは一律に広告物の掲出が禁止される。

また、指定及び登録歴史的建造物や指定景勝地の周辺域半径500mにかけられている景観規制区域、保全地区なども基本的に広告物の掲出が規制されるが、地域の観光活性化に資するために指定される地区では、歴史的建造物の案内表示などを可能とするなど緩和措置がある。



整備事例の紹介(フランス)

日本のように番地が面構成ではなく、通りでの構成のため位置確認がしやすい。



整備事例の紹介(フランス)

参考事例

(一般道路の地点、方向、距離案内標識)



色分けについては、近距離：白 遠距離：緑として決められている。

整備事例の紹介(フランス)

参考事例

(一般道路の地点、方向、距離案内標識)



整備事例の紹介(フランス)

参考事例

(ツーリストサイン:県単位にて整備している)



色分けについては、統一されていないため、茶色であったり、赤であったりとそれぞれ県の考え方に基づいて整備されている。

参考事例



宿泊施設表示



地点名表示

参考事例

(フランスでは観光案内標識については、統一した基準はないものの、自治体単位にて観光税を徴収し、その財源を基に独自に設置している例もある。)



地域独自の案内サイン(図解入り)



仙台市歩行者系公共サイン

整備領域:宮城県 仙台市 中心市街地(仙台駅から青葉城までを含めた歩行圏)

竣工 :2000~2002年

整備主体:仙台市建設局

計画の背景

- ・観光来訪者や外国人へのホスピタリティの向上
- ・高齢者や障害者を含めた多様な市民の歩行環境の円滑化
- ・都市景観、都市イメージの向上

計画の方針

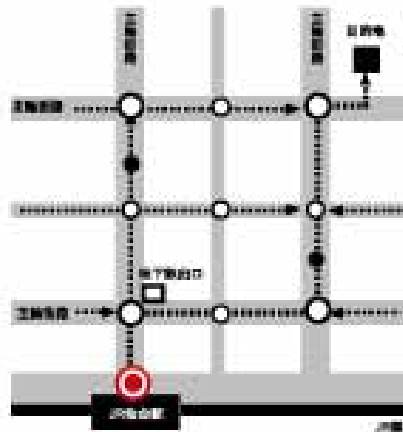
- ・案内・誘導サインの新たなネットワークづくり
人々を円滑にかつ快適に誘導を行う。
- ・サインの情報提供手法、表現の共通化
表示内容を可能なかぎり共通化要素とし、分かりやすさ、情報の連続性を図る。

コンセプト

- 1 情報提供ネットワークの構築
行動起点及び主軸街路の顕在化を支援する
- 2 街並みと融和する落ち着いたデザイン
街並みを配慮した色彩
本体色休憩拠点としてのシステム性
- 3 国際性への対応
多国語表記のルール化

1 情報提供ネットワークの構築

中心市街地の特色である主軸街路の顕在化することできめ細かい情報ネットワークの構築を図りながら、行動起点である仙台駅では音声案内も含めた総合的な情報提供を行っている。



● 大拠点 ○ 中拠点 ○ 小拠点 ● 主軸街路



小拠点 まちなか誘導

中拠点 まちなか案内



大拠点 仙台駅前

2 街並みと融和する落ち着いたデザイン

- ・街並みと調和する落ち着いた本体カラー；ダークグリーンを抽出。
- ・伊達の墓領に直結する青葉通りでは、伊達の御旗色である茄子紺を使用し街路を顕在化している。
- ・市内散策を積極的に支援する休憩拠点としての位置づけのもとに、サインとベンチを組み合わせたデザイン



茄子紺



ダークグリーン

3 国際化への対応

- ・日本・英語・中国語・韓国語の4カ国語表記
- ・表記対象となる施設に優先順位をつけ、必要性の高い施設のみを多国語表記する。

4カ国語表記対象	備考
現在地	
鉄道・地下鉄路線	
駅	ビクトグラムと4カ国語表記の併用
バスターミナル	地区内ではビクトグラムのみ 凡例で4カ国語表記
タクシーのりば	地区内ではビクトグラムのみ 凡例で4カ国語表記
空港・港	ビクトグラムと4カ国語表記の併用
案内所	地区内ではビクトグラムのみ 凡例で4カ国語表記
公衆トイレ	地区内ではビクトグラムのみ 凡例で4カ国語表記
エレベーター	地区内ではビクトグラムのみ 凡例で4カ国語表記
特に外国人の利用 が考えられる施設、 主要観光地等	<ul style="list-style-type: none"> - 仙台国際センター - 瑞鳳殿 - 仙台（青葉）城跡 - 秋葉温泉 - 作並温泉等



- 凡例
- 駅
Railway Station
铁道站
철도역
 - 地下鉄駅
Subway Station
地下铁道站
시하철 역도역
 - 案内所
Information
问路处
안내소
 - エレベーター
Elevator
升降电梯
엘리베이터
 - 銀行
Bank
银行
은행
 - バスターミナル
Bus Terminal
公共汽车总站
버스 터미널
 - タクシーのりば
Taxi
出租车乘车台
택시 하차장

横浜市歩行者系公共サイン

整備領域: 横浜市の中心市街地を対象として実施(横浜市 MM21/新港/関内/関外/山手地区)

竣工 : 1999 ~ 2002年

整備主体: 横浜市道路局

計画の背景

- ・ワールドカップサッカー等の国際的なイベントの開催
- ・基盤整備、街区開発の進行に対応した最新の情報提供の必要性
- ・コンベンションや観光を目的とした外国人を含めた来訪者への広域的な案内の必要性

計画の方針

- ・横浜市中心市街地全体のネットワーク形成を図る
- ・5つのエリアに対して、それぞれの地域特性を考慮しつつ、案内誘導システムや情報内容等の共通化を図り、地域特性の明確化とわかりやすさを両立する。

コンセプト

- 1 情報内容の共通化
誘導施設、掲載施設等の表示内容の情報の共通化
- 2 地域特性を生かした本体デザイン
広範な対象地区の各エリアの地域特性を生かした色彩と形態
- 3 表示方法の統一
多国語表記やピクトグラムの一貫

1 情報内容の共通化

誘導対象施設や案内図掲載施設等の情報内容の整合を図る。

また、関内地区については地図メンテナンスを観光協会に委託、2年に1回の地図更新を可能にした。

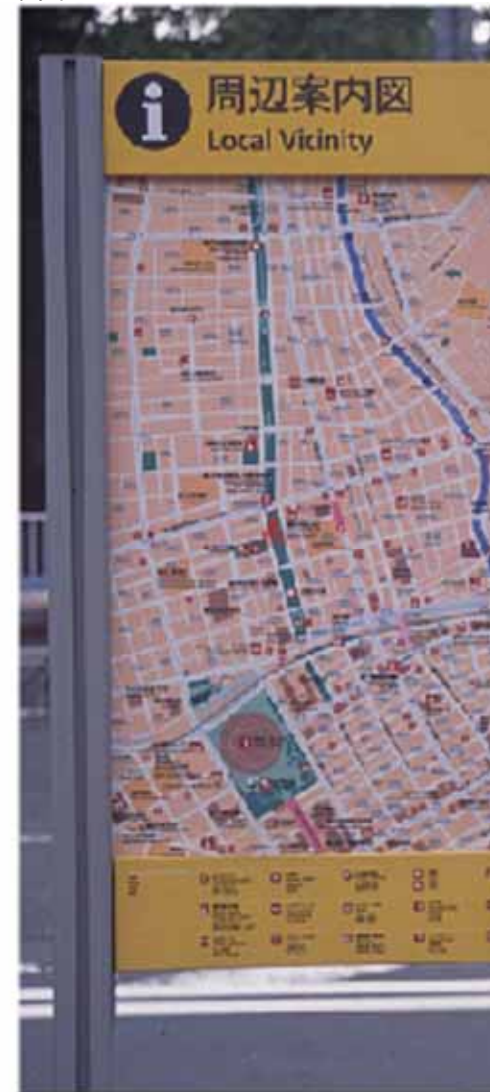
みなとみらい21地区



関内地区



関外地区



2 地区特性を生かした本体デザイン

各地区の特性をサイン本体デザインで表現しながら、地域全体としてのわかりやすさを提供する。



3 表示方法の統一

多国語表記ルールやピクトグラムデザインの統一化を図っている。

- ・入国者の言語別構成比をもとに、ハングル語、中国語、英語の4カ国語を表記
- ・多国語表記対象を限定する

現在地、駅、案内所、主要施設等多国語表記対象に限定

- ・地図等ではピクトグラムを有効利用し、凡例の中で多国語表記を行う
ピクトグラムはJISに準拠

凡例



鉄道駅
Railway Station
铁道站
JR 선다이의역



案内所
Information
问讯处
안내소



エレベーター
Elevator
升降电梯
엘리베이터

